



12時間白球追うソフトボール大会

12時間試合を続ける第3回マラソンソフトボール大会(洞爺湖スポーツ

クラブ主催)が、8月21日虻田高校グラウンドで開かれ、延べ約90人の町民が参加し、炎天下で白球を追いました。

午前8時30分にウサギとカメの2チームに分かれ試合開始。ファインプレーには商品がでるなどわき合いあいでゲームは進みました。途中3塁から回る逆回りややわらかいボールをバットの代わりにフライパンで打つなどユニークなルールが適用され、参加者の笑いを誘いました。

試合は、終了の20時30分までに84回行われ、100対99でウサギチームが勝利を収めました。

耐久のソフトボール大会 12時間白球追ってふれ合い交流

洞爺高校全国3位受賞 家庭クラブ研究発表大会

北海道代表として7月28・29日山梨県で開催された「全国高校家庭科クラブ研究発表大会」に出場した洞爺高校の生徒が、8月18日に役場を訪問し、真屋町長に大会の結果を報告しました。

大会は、ホームプロジェクト部門と学校家庭クラブ活動2部門があり、両部門で道代表となった同校は、全国大会でも、両部門とも3位にあたる山梨県教育委員会賞を受賞。

小野祐輔家庭クラブ会長は「町民の皆さんの支援のおかげで、活動が全国に認められうれしかったです。これを励みに今後とも活動を継続していきたい」と受賞の喜びを語りました。



真屋町長に全国大会の報告をする洞爺高校生

温泉街の繁栄を祈る 薬師の日湯かたまつり

湯前薬師如来奉賛会(朝倉英隆会長)の主催で、薬師の日の8月8日「薬師の日湯かたまつり」がポケットパークで開かれました。

法要祭では約40人が参列し、洞爺湖温泉の繁栄と安全を一人ひとりが祈願した後、朝倉会長が「震災の影響で、深刻な状況であるが、がんばっていききたい」と挨拶しました。

会場では、焼き鳥などの露店も出店。住民らは冷たいビールでのどを潤しながら、夕方から行われたミニミニコンサートや宿泊券が当たるビンゴ大会で盛り上がっていました。



「にぎわいを見せた『薬師の日湯かたまつり』」



中島の食害などについて話しを聞く洞爺小5年生

8月23日第2回出張環境教室が行われ、洞爺湖の自然環境の実態を学びました。

地域にある自然の守り手を育成する狙いで、昨年からは実施している事業で、今年は4回予定しています。

当日は、昨年度まで環境省のアクティブレジャーとして活動していた加藤康さんを講師に迎え、シカによる食害や動植物の生態系の変化などについて、詳しい説明を受けました。

次回は、10月上旬伊達火力発電所見学を予定しています。

中島の食害や生態系の変化学が 第2回出張環境教室